

トヨタ流モノづくりの基本と実践

基礎コース

モノづくりの基本は「お客様に良いモノを・安く・タイムリーに提供する」と言われていますが、モノづくりの現場では品質・コスト・生産を阻害する「数多くのムダ」が存在します。その「ムダ」に気づき「ムダ」を取り除くことで、現場が変わり、その変化でまた新たな「ムダ」が発生します。この繰返しの実践が現場の改善力を高め、人を育てます。本講座ではトヨタ生産方式をベースに「モノづくりの基本的な考え方とムダの見つけ方」をやさしく解説します。

対象 ものづくり現場のリーダー
(中核人材)の皆様
経験年数5~10年程度

定員 40名

時間 9:30~16:30 6時間
(9:00から受付)

日程 平成30年 6月21日(木)

会場 岐阜工業高等専門学校
図書館 多目的ホール

研修後のフォローアップ

研修後、ご希望により、逆スクーリング制度(フォローアップ)を実施します。

講師が受講者の現場を訪問し、直接指導を行います。(有料)

講師紹介

大岩 光司

大手自動車会社の工場部門にて35年余りにわたり、製造技術と現場・工場マネジメント業務に従事。その間、トヨタ生産方式をベースに生産・品質・原価・安全・人材育成などモノづくり・人づくりに豊富な実践経験を持つ。2009年8月よりモノづくり支援アドバイザーとして独立。現場改善・人材育成・マネジメント指導など現場モノづくりを重点に支援中。

プログラム

1. モノづくりとは

- 1 モノづくりは人を育てる
- 2 トヨタ流モノづくりの原点

2. トヨタ流モノづくりの2本柱

- 1 ジャスト・イン・タイム
 - ・平準化生産とリードタイム短縮
 - ・標準作業の役割とタクトタイム
 - ・後工程取りの原則
- 2 自動化
 - ・ニンベンの付いた自動化
 - ・品質は工程で造り込む
 - ・正常・異常の見える化

3. ムダの着眼点は7つ

- 1 造り過ぎのムダは新たなムダを生む
- 2 手待ちのムダの見える化
- 3 過剰在庫は問題を隠してしまう
- 4 運搬は付加価値のない作業
- 5 疲労の敵は動作のムダ
- 6 加工作業そのもののムダ
- 7 原価を高める不良・手直しのムダ

4. ムダ取りの実践

- 1 現場を観る・事実を観る
- 2 見る目を養うビデオ観察
- 3 「すぐやってみる」が次の改善を生む
- 4 やる気と知恵で現場を変える